

会 議 議 事 録

会 議 名	平成 29 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	平成 29 年 7 月 5 日 (水) 18 時 ~ 20 時	
会 場	専門学校 東京工科自動車大学校 123 教室	
参 加 者	委員	7 人 (参加者：7 名) 浅古純一・及川順一朗・田中洋子・沼田 勇・植草賢治・北澤聡 (欠席：1 名) 佐々木洋文
	事務局	3 人 佐藤康夫・山口泰之・戸辺武
会 議 録	<p>1. 校長挨拶 佐藤校長より、本学校関係者評価委員会開催に向けての挨拶が話された。</p> <p>2. 役員改選 佐藤校長より平成 29・30 年度委員及び事務局メンバー案について説明及び確認が行われ、委員より承認がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会成立の確認 事務局（山口副校長）より、会則第 5 条の 2 に基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。 <p>3. 学校関係者評価委員会の議長、書記選出 議長に委員長の浅古氏、書記に及川氏が選任された。</p> <p>4. 議事</p> <p>○第 1 号議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員改選 【資料 B】 上記の通り、役員改選について承認された。 <p>○第 2 号議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回議事録確認 【資料 A】 事務局（山口副校長）より、資料 A（平成 28 年度第 2 回学校関係者評価委員会会議事録）に沿って前回議事録についての概要説明及び確認が行われた。 <p>○第 3 号議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度自己点検自己評価について [資料 D] 平成 28 年度自己点検自己評価概要を事務局（山口副校長）から「平成 28 年度自己点検評価結果」を元に概要の説明・確認がなされた。 	

○第4号議案 【資料B】

・平成28年度実績および平成29年度入学者報告 【資料B】

平成28年度実績および平成29年度の入学者に関して事務局(山口副校長・佐藤校長)より以下の説明及び確認がなされた。

- ・H28年度の教員研修について：資料中別表の通り
- ・H28年度の就職内定率について：就職希望者に対して100%内定獲得
- ・H28年度の整備士国家資格取得結果について：一級小型：昨年度より上昇するも目標に達しなかった。二級（ガソリン・ディーゼル）自動車整備士：ガソリンは目標達成だが、ディーゼルは目標に届かなかった。

・H29年度の入学者数について：昨年度より入学者30名以上の増。日本人の人数はほぼ横ばい。留学生が増加傾向にある。

沼田：国家資格1級は2級の資格を取得してからの受験か。

佐藤：2級ガソリンとディーゼルの両方合格した者は2年で1級受験資格を得られるようになっているので、当校の1級科の3年生は必ず2級を持っている。

植草：今のところ当社では留学生の採用はないのだが、この場をお借りして状況を伺いたい。

佐藤：日本人募集の状況が思わしくない。18歳人口が減っているにも関わらず、日本人の大学進学率は今だ上昇している。また、高校生就職が非常に良くなっている。大企業からも採用があるので、進学せずに就職している者が増えている。これらが日本人学生が少ない要因となっている。

また、クルマに興味が無い、免許すら取らない若者が増えている。高校の大学志向の進学指導の傾向も要因の一つ。

当校は海外の留学生から評価をもらっている。今まで留学生を受け入れてきた実績もあり、それが評価されている。東南アジアの留学生は日本に好意を持っている（親日）。なかでも当校は日本語学校の先生や卒業生からも評価を受けているので、当校を選ぶ留学生が多い。彼らは日本人より真面目、真剣な者も多い。留学生が就職した企業が翌年また留学生の採用も行なっていてだしている。

北澤：当社は以前から採用をしている。教材等は日本人と同じものを使用しているか。

佐藤：全く同じカリキュラムで同じものを使用している。違うものは最初の1期だけなるべく使用する資料等についてルビをふるようにしている。

北澤：在校生のうち女子学生の割合は？

佐藤：例年、2～3%。増加させるよう様々な工夫をしているが、なかなか伸びない。自動車に興味があって自らアクションを起こした女子学生でないと来校しない。

○第5号議案

・平成29年度事業計画報告【資料B】

・平成29年度の事業計画の概要及び年間スケジュールについて、事務局（佐藤校長）より報告がなされた。

1. 平成29年度募集目標の必達

- ①「機会損失」を最小限とするOCの戦略的運営
- ②見学出願率（各科毎目標）の向上、AO推進
- ③質の高い留学生から指向される自動車大学校の旗頭となる

2. 教育成果（就職、資格合格）に向けたP-D-C-A教務の確立

- ①進級、卒業に関わる的確な評価の実施
- ②「プロジェクト・セミナー」を職業教育の柱として特徴化
企業から求められるのはチームプレイ。社会人基礎力を培うため、学生に自己管理等を行わせている。自己評価を繰り返して進めている。様々なテーマで、即戦力として活躍できる人材の育成を行なっている。
- ③資格合格率向上、進級・在籍率の向上（退学率減）
- ④1級取得（教員）をはじめとする個別課題の達成

・前回検討内容の進捗について事務局（佐藤校長）より報告がなされた。

1. 〈アドミッションポリシー〉について

アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーの3つのポリシー作成が大学では必須となっている。まずは入学に関するアドミッションポリシーを作成した。このポリシーを掲げた上でAO入学等の実施を行なっていく。今後また意見をいただきながら改訂をしていく。

・その他

及川：息子は就職内定をいただいているが、次は1級の資格に向けての話となり、是非とも合格率を上げていただきたい。また、人材の不足に危機を感じている。このままでは職人不足になってしまうので、人を育てる観点からしても‘職人’の仕事に対して興味を持てるようアドバイスをしていただきたい。

田中：地域の諸活動は学生さんなしでは成り立たない。引き続き今年もお願いしたい。また、学園祭などでクルマのことがわからない私たちにもわかり易く説明していただき、学生さんと交流できることが私たちの楽しみ。

佐藤：学校運営には地域との連携が不可欠なので、田中さん中心に機会をいただいているので私たちの方こそ非常に感謝しております。

浅古：やりたいこととできることの違いを教えてあげるのも教育ではないか。個人人格と組織人格の使い分けが必要ではないか。

佐藤：簡易版学校案内についての説明。

次回日程の確認

- ・平成29年度 第2回学校関係者評価委員会開催日程（平成29年11月1日（水））の確認がなされ、委員全員の確認を得た。

以上

会議風景

